

表 彰（公衆衛生功労者知事表彰 中井孝佳先生）	1
支部長会開催（平成21年度事業計画について協議）	1
12月理事会報告（支部長会の招集並びに附議事項について協議）	6
1 月理事会報告（平成21年度事業計画並びに予算計画について協議）	9
第57回三重県学校歯科衛生大会	11
平成20年度第 4 回介護予防研修会開催	12
個人事業の承継に係る税務の取扱い	13
社会保障部門社保コーナー（資格関係誤りレセプト発生防止にご協力を）	14
会員事業部門生涯研修コーナー	
〔 ・ 今月の生涯研修該当論文 ・ 学術委員会情報配信コーナー（「口 臭」） 〕	15
委員会便り	18
12・1 月会務日誌	19
会員消息のページ	20
告 知 板	
（平成21年度愛知学院大学歯学部同窓会三重県支部学術講演会）	21
互助会各部・歯科国保組合の現況	22
編集後記	24

## 表彰

## 公衆衛生功労者知事表彰

## 中井孝佳先生（尾鷲支部）



尾鷲支部所属の中井孝佳先生は、2月19日、公衆衛生功労者知事表彰を受賞されました。

先生は、平成6年から三重県歯科医師会理事、常務理事に就任、県下の公衆衛生事業の普及に取り組み、う蝕の予防と口腔衛生知識の向上に大きな功績を挙げ今回の受賞となりました。

## 支部長会開催

## 平成21年度事業計画について協議

開催日時：平成20年12月25日（木） 午前10時

開催場所：三重県歯科医師会館

石垣専務理事の開会の辞、出席者確認（支部長全員出席、田所常務理事欠席）の後、橋本副会長の司会の下、議事録署名人には寺辺津支部長と齋藤常務理事が指名された。

## 会長挨拶

日本だけでなく世界の経済状況は悪く、株価を見ておられますもまだまだ底が見えない状況のようです。トヨタが赤字に転落したというのが大きな出来事であります。サラリーマンにとりましては大変な暮れを迎えるのだという気がいたします。

一方、政治であります、民主党が衆議院解散決議案を提出し、これに渡辺喜美氏が賛成したことに対し、自民党は戒告しか出せないというような弱腰であります。今後の選挙がどうなるかを含め、不透明で分からない時代になってきたことは確かであります。

歯科医師会の周辺を見渡しますと、ちょうど公益法人制度改革も含めた役員の改選期でありまし

て、慌しくしております。本来ですとこの時期、次年度の事業計画を十分に議論して戴くのですが、支部長先生も代わられる方が多いように聞いております。しかし、会務というものは長が代わっても永遠に続くものであります。次世代に向けて、きちんとした事業計画等を練っていく必要性があるかと思っております。

また、レセプトオンライン化に関して、かなり煮詰まった話が出てまいりました。そして歯科衛生士の就学の問題であります、ここに至って相当厳しくなってきました。3年制移行というものにこれに輪をかけてまいります。ただ世間の経済が悪くなると、歯科衛生士というのはかなり安定職でありますので、大学卒でも就職先の無いということが光明になります。その辺りに出口を

見つけたいと思っております。

今日は、そのことも含めてご議論を戴きたいと思えます。

## 報 告 事 項

### 1. 会長報告（峰会長）

#### (1) 公益法人制度改革について

日歯では、平成22年4月を目途に公益法人の認定を受ける準備を進めていると地区別講習会で話したが、世間の流れを見ていると、22年4月に公益認定の条件をクリアすることが難しそうで、延期されるのではないかとこの見込みが出始めた。年金、共済等、会員のメリットになる部分がどう処理されるべきか分からない中で、そうはっきりと1年先に公益認定を受けるのは難しいのではないかと、という認識を持っていたが、どうも日歯も弱腰になってきているようだ。5年という期限があるので、都道府県、郡市区併せて検討しながら一番良い方向に持っていくのが良いのではないかと考えている。今後、日歯で役員に会うこともあるので、進展状況を聞いてきたいと思うが、少しニュアンスが変わってきたことをお伝えしておく。

#### (2) 日歯会長選挙について

2名の先生が立候補した。現日歯会長の久保満男先生と滋賀県の津曲雅美先生である。

#### (3) 日本歯科医学会会長選挙について

3名の立候補があった。瀬戸皖一先生は学術会議の委員で東京医科歯科大学の出身、専門は口腔外科。三谷英夫先生は元東北大学の矯正学教授で大阪歯科大学の出身。江藤一洋先生は東京医科歯科大学の出身で現歯科医学会会長。

#### (4) 歯科医師による医科麻酔について

麻酔科医不足に対する歯科医師の代用という問題に対し、麻酔科学会が強硬に反対している。歯科医師はきちんとした医学部の医学教育を受けていないので、全身管理が無理だろうということである。我々歯科医師には屈辱的と思えない。口腔外科分野で麻酔を行っているのは歯科医師の歯科麻酔科医であって、この分野で

歯科医師に麻酔を施されオペを受けるといつ死んでもおかしくないような表現である。日歯は逆なでするようなことは避けたいと考え、反論しないようである。このことに関しては、医師会、学会、歯科医師会は国民の信頼を得るために、麻酔科医の制度も含め今後検討する必要があるのではないかと。

#### (5) 新型インフルエンザについて

新型インフルエンザのワクチン接種を優先する業種として3段階に分類されており、歯科医師はカテゴリーⅡに含まれる。分類の位置付けは良いように思われるが、大きな問題であるので、福祉厚生、医療管理が中心になってどう対処していくのか、会でも検討していきたい。

#### (6) 社会保障費について

2,200億円抑制は無理だという議論は、国会空転により、来年もやはり2,200億円の圧縮は続きそうである。

#### (7) 介護保険について

介護保険開始から数年経ったが、歯科が挙げている介護費用というのはごく僅かである。これまで、口腔機能向上加算は歯科保険治療中には算定できなかったが、今後はその算定も可能になるとのことである。

### 2. 一般会務報告（石垣専務理事）

#### (1) 会員数

平成20年4月1日～平成20年12月1日（累計）入会8名、退会3名、会員数860名。

#### (2) 無料職業紹介状況

求職6名、求人95名、紹介0名、まとまったもの0名。

#### (3) 第13回三重県歯科保健大会について

合計590名の参加を戴き、盛大に、そして地域性のある大会を開催することができた。野呂知事も初めて参加戴いた。

#### (4) 第14回三重県歯科保健大会の開催予定日及び開催地区について

平成21年11月8日(日)、桑員支部協力のもと桑名市民会館において開催。

#### (5) 平成20年度地区別講習会について

合計649名（75.4%）の参加。

- (6) 三重県歯科医師会ロゴの商標登録について
- (7) 平成20年度新入会員講習会について
- (8) 三重県歯科医師会館 2階大会議室及び1階教育センターの音響設備の変更について
- (9) 三重県警察医会からの書籍の配布について
- (10) 県歯事務局年末年始の業務について

### 3. 各部事業報告

#### 〔学 術〕 高森理事

- 第2回県歯学術研修会について

平成21年2月15日(日)に開催。演題は「包括歯科臨床－視点を変えた咬合再構成－」。

- オンデマンド配信について

「コミュニケーション」という題で、伊勢度会支部の杉原先生にまとめて戴き、配信。

#### 〔公衆衛生〕 中井常務理事

- 地域障がい児(者)歯科ネットワーク事業について

今年度中に障がい児(者)のニーズを把握するため、アンケートを実施中。次年度以降、障害者歯科センターと一般開業医とのネットワークを構築し連携を強めていきたい。2月頃、事業への協力者を募るためのアンケート調査を予定。

- 1歳6ヶ月児・3歳児歯科健診早見マニュアルの作製について（羽根理事）

- 第5回介護予防講習会について

#### 〔医療管理〕 齋藤常務理事

- 名古屋国税局管内税務指導者協議会結果について

e-TAX利用を国税庁の方から要望されている。

- 平成20年度医療管理学会結果について

- 年末年始の各支部の診療状況について

#### 〔国保組合〕 武田理事

- 出産育児一時金の改正について

出産育児一時金を現在35万円支給しているが、平成21年1月1日より3万円の加算支給を行う。これに伴い組合規約を一部改正する。2月の組合会にて報告。

#### 『質疑応答』

- Q：寺辺支部長（津）

歯科健診早見マニュアルについて、「口腔清掃状態」の「きたない」という表現を何とかし

て戴けないか、との要望が会員からある。文言の変更はできないものか。



寺辺支部長（津）

- A：羽根理事

厚労省からの指針で判断基準として示されているので、変更はしづらい。但し、表現は自由である。

- Q：寺辺支部長（津）

母子手帳も「きたない」となっているので、基準の表現そのものを変更して戴きたい。

- A：羽根理事

日歯の方でも機会があれば提案していきたい。判断基準さえ変えなければ、現場で工夫して戴くのは問題ないかと考える。

### 協 議 事 項

#### 1. 平成21年度事業計画について

##### <社会保障部門>

#### 〔社会保障委員会〕 小林理事

- 平成22年度の改定についての伝達講習会を21年度末頃予定。

- 支部別社保講習会へ依頼により講師を派遣。

- 行政指導及び監査に立ち会う。

- 特定社保講習会、集团的個別指導の対象者に講習会を行う。

- 会員自主懇談、個別指導・新規指導対象者で希望があれば懇談を行う。

##### <地域保健部門>

#### 〔公衆衛生委員会〕 中井常務理事

- 介護予防関連事業、訪問診療研修会・介護予防研修会の開催。

- 子育て支援事業、一時保護所入所者への歯科健

診、指導。

- 障がい児(者)歯科ネットワーク事業
- 学校歯科保健事業
- 〔障害者委員会〕武山理事
- センター診療は昨年同様年間90日の診療を行う。
- 救急処置講習会を開催。
- 障害者歯科研修会を7～8月の間に開催予定。
- 障害者歯科学会認定医の育成。

#### ＜会員事業部門＞

〔医療管理委員会〕齋藤常務理事

- 歯科助手講習会を4月より4回開催。
- 歯科衛生士対策事業として、①歯科衛生士職業説明会、②PR活動、③リタイア歯科衛生士復職支援事業に向けての検討。
- 歯科医療従事者感染症予防講習会は日歯からの依頼事業で、三重県が当番県であり、平成21年度に開催。
- 歯科医療実態調査は企画調査との連携事業であり、来年度が3年に1回の実施年になる。

〔学術委員会〕高森理事

- 学術研修会を年2回開催。
- 最新歯科医療情報の収集と周知。
- 日歯生涯研修セミナーに協力。

〔福祉厚生委員会〕武田理事

- 日歯共済・日歯年金・互助会・グループ保険等の情報を会員に提供。
- 新型インフルエンザに関する情報等の提供。
- 公益法人制度改革に対し、今後の互助会制度のあり方の基礎資料作成。

#### ＜情報処理部門＞

〔広報編集委員会〕辻理事

- 会員名簿を5～6月頃に発行したい。

〔企画調査委員会〕東理事

- レセプト電算化、レセプトオンライン化についての情報収集。公益法人制度改革関連の情報収集。

#### ＜総合組織改革部門＞橋本副会長

- 公益法人制度改革関連、県歯会IT化の推進。

#### ＜その他の事業＞石垣専務理事

- 平成21年3月からのレセプト電算化の進捗状況

に応じ、情報提供のための講習を行う。

- 災害時の体制整備事業、新型インフルエンザ発生時に対応していく。
- 第14回三重県歯科保健大会を平成21年11月8日（日）、桑員支部にて開催する。

#### 『質疑応答』

Q：藤田支部長（伊勢度会）

次年度、介護保険が大幅に変わるようだが、社保の委員会のように請求について指導をして欲しい。



藤田支部長（伊勢度会）

A：中井常務理事

研修会の中で機会を設けていきたい。社会保障部とも連携して情報の提供に努める。

#### 2. レセプトオンライン化について(太田理事)

平成18年4月にレセプトオンラインの義務化という省令が出た。平成21年3月よりレセプト電算化が認められる。電算化とはレセプトを電子媒体により請求するものであり、これは手挙げ方式である。一方、オンライン化とはレセプトを通信回線（インターネット等）で送付、請求するシステムで、平成23年4月に原則義務化が決まっている。

ここで問題になってくるのが、オンライン化に対応困難な会員はどうするのか、ということである。これに対し、県歯会としてはオンライン化対応可能になるよう協力していくべきである。日歯レセコンもかなり現実味を増してきているし、各支部でも協力して戴きたい。

#### 『質疑応答』

Q：吉田支部長（松阪）

松阪支部でも全員メール配信にしたいと考え

ているが、オンライン化に対し無駄なく進めるにはどうするべきか。



吉田支部長（松阪）

A：太田理事

回線に関しては、オンライン請求でもインターネットという接続方式が取り入れられそうなので、あまり無駄になるということは無いのではないかな。

A：峰会長

電算化に関しては、現在殆どの会員はレセコンを使用しているようで、そのメーカーから点数改正の時に送られるバージョンアップ情報の中に組み込まれてくるだろう。だから、そう不安になることは無い。ただ、オンライン化に際し日歯のレセコンを使う場合、ソフトが自分のところには無いので、常にインターネットと繋いでやり取りすることになる。そういう意味ではインターネットに慣れておく必要があるだろう。

各支部において、現在レセコンを使用していない会員の実態把握、また、その先生は今後どうしていく考えなのかを把握しておいて欲しい。県歯会で代行請求をすれば多大な予算が必要になる。そのことも含め、協力、実態調査をお願いしたい。

### 3. その他（峰会長）

歯科衛生士問題であるが、現在、県内3校の歯科衛生士学校は定員確保が危ぶまれている。少子化の問題、歯科衛生士学校3年制への移行等、学校経営も含めた問題ではあるが、このままでは歯科衛生士不足の問題は大きくなるばかりである。県にも奨学金制度の検討を要請して

いるが、実現するかどうかわからない。また、県歯会で奨学金を出す案もあるが、これは莫大な費用を要し、会員への負担も大きく、非現実的である。だとすると、歯科衛生士を必要とする医院が助手として雇用し、そこから歯科衛生士学校に通わせる方法が現実的ではないかと考える。学校のカリキュラムの問題もあり、学校側とも話し合いながら1年程検討していきたいと思うが、如何か伺いたい。

### 『質疑応答』

Q：浅野支部長（四日市）

良い考えだと思うが、システム化されたとき高校側へのアピールはどうしていくのか。



浅野支部長（四日市）

A：峰会長

システム化され、軌道に乗ればしめたものだろう。ただそのためには各歯科医院が見込みのある個人を口説き、歯科衛生士学校に進学させていく方が早いと思う。そこからシステムが生まれてくるべきで、会としてはそのためにカリキュラムの問題を突いていく、というスタンスでいくべきではないか。少子化の中で、歯科衛生士を減らさず、学校を潰さず、人材を発掘・確保していくにはこの方法しかないように思う。

Q：藤田支部長（伊勢度会）

奨学金に関して、奨学金は回収もできるので、一時的に出費にはなるが、次第に順繰りになるのではないかな。会員の診療所で勤めなければならない、等の条件を付けてはどうか。

A：峰会長

現在、看護師に県が出している奨学金が条件

付きである。5年間三重県内で就業すると返金しなくても良い。ただこれは県の話である。

Q：藤田支部長（伊勢度会）

返金にあたっては勤務先の診療所が代行しても良い訳なので、会からの奨学金を再考して戴いても良いのではないか。

A：峰会長

歯科衛生士を全く使わない診療所も出てくるだろう。また、全ての診療所に歯科衛生士を回

せるわけではない。そんな中で会費を倍増しなければ賄えないような奨学金制度は現実的ではないと考える。

A：石垣専務理事

現在、歯科衛生士のいない診療所が3分の1程度ある。その先生方の賛同が得られるだろうか。それと、待遇面でもばらつきがあり、待遇改善も必要ではないかと思う。

（広報編集委員・川森英司 記）

## —12月理事会報告—

# 支部長会の招集並びに附議事項について協議

開催日：平成20年12月4日（木）

開催場所：三重県歯科医師会館

12月理事会が開催され、支部長会附議事項等についての協議が行われた。

### 会長挨拶

本日は、師走のお忙しいところご出席戴きありがとうございます。

第13回三重県歯科保健大会を志摩支部の阿児アリーナで開催致しましたところ、590名という多数の方々の参加を得て盛会となったことを報告致しますとともに、お世話になりました志摩支部の先生方はじめ役員、担当委員の先生方には心より御礼申し上げます。また、地区別講習会におきましては、3回の開催で合計649名の先生方に御出席戴き、光栄に感じております。

それでは、今年の締め12月理事会でございます。慎重な審議をお願い致しまして、冒頭のご挨拶とさせて戴きます。

### 報告事項

#### 1. 会長報告

公益法人制度改革の件について、12月1日より

公益法人三重県歯科医師会は名称が特例民法法人となったが、内容的には何も変わっていない。10月の新制度説明会では公益認定委員会の担当者が「無理して公益を取るより、一般にとどまることも考えてほしい」と述べているが、日歯は早々と「平成22年4月頃には公益の認定を受ける」と公言している。朝日新聞の記事には、公益法人を選定する組織が事実上少なく、今後どのような動きになっていくのか、法的に見ると公益を取らずに一般にしても税金は優遇されるということもあり、2万5千くらいある法人の中でどこが公益を取るのかというようなことが書かれている。色々な形で各公益法人制度改革が動いているが、先日の地区別講習会でも述べた通り、もう少し様子を見ていきたいと思う。とりあえず、日歯がどのような動きをするのか、公益法人制度改革が謳われてスタートした最初の時点と、12月1日の公益法人から特例民法法人となった時点では、トーンが変わってきているということだけ認識しておいて戴きた

い。

日歯役員改選について、本会と同じく日歯も平成21年度は改選期となる。日歯会長選挙の立候補の届出期間は、12月1日午前9時30分から12月4日の午後5時30分までと決まっている。今日の5時30分になれば誰が立候補するのかが決定する。現在のところ分かっているのは、現大久保会長が出馬されることと、自身のブログやホームページで出馬宣言をしている滋賀県の津曲雅美先生が出馬されるということである。

次に新型インフルエンザについて、ワクチンの接種順位であるが歯科医師はカテゴリーⅡに入る。新型インフルエンザが発生した際のワクチンの先行接種の順番として、カテゴリーⅠは感染拡大防止・被害の最小化に資する業種・職種、具体的には感染症指定医療機関、保健所、救急隊員、消防職員、検疫所、自衛隊、警察職員、宿泊施設などが該当する。カテゴリーⅡは新型インフルエンザ対策に関する意思決定に携わるものとして、首相、官僚、国・地方自治体の意思決定に関わる者とされている。また、国民の生命・健康に関わる業種・職種として、感染症指定病院等以外の医療従事者、福祉・介護従事者、医薬品・医療機器製造販売が明記されており、この中に歯科医師が入る。さらに国会議員・地方議会議員、警察職員、報道機関などもカテゴリーⅡに分類されている。そしてカテゴリーⅢとして最後に入るのが、ライフラインに関わる業種・職種として、電気、原子力、ガス、石油、水道、郵便、鉄道、食料品、生活必需品販売などとなっている。歯科医師はカテゴリーⅡという、かなり優先順位の高いカテゴリーに入っている。

その他として、日本歯科医学会の会長選挙について、来年1月23日の評議員会で決定する。今のところ立候補予定者は、現在の江藤会長と口腔外科で有名な瀬戸皖一先生、それから東北大学の矯正を専門としている三谷英夫先生が出馬する予定となっている。

## 2. 一般会務報告

- ・無料職業紹介所事業報告（累計）：求職6件、

求人95件、紹介0件、まとまったもの0件

- ・県歯ホームページアクセス集計：3,144件
- ・12月、1月行事予定
- ・第13回三重県歯科保健大会結果報告：590名の出席があり、そのうち一般参加者は345名と非常に多かった。
- ・第14回三重県歯科保健大会の開催日及び開催地区について：桑名市民会館で11月8日(日)の申し込みをしていたが、複数の申し込みがあり、抽選ということになった。抽選の結果、見事当選したので、当初の予定通り11月8日(日)に桑名市民会館で行うことが決定した。
- ・平成20年度地区別講習会について：非常に出席率も高く、合計649名の出席者があった。
- ・三重県歯科医師会シンボルマークの商標登録について：特許庁に申請していたシンボルマークが登録され、登録第5178312号として商標登録証が届いた。
- ・音響設備の変更について：県歯会館2階大会議室及び1階教育センターの音響設備について、以前より講習会等で音が響いて聴こえにくいという意見があり、会館も設立から20年経過したので、今回音響設備を全面的に取り替えることになった。
- ・都道府県専務理事連絡協議会出席報告（11/19）
- ・都道府県レセプトオンライン対策担当者連絡協議会出席報告（11/28）
- ・三重県警察医会から書籍の配布について
- ・平成20年度会計中間監査報告

## 3. 各部事業報告

～社会保障部門～

[社会保障]

- ・国保・社保審査委員会合同協議会出席報告（11/20）
- ・歯科技工指示書の変更について：平成17年4月に厚労省から品質管理に係る指針として歯科技工録を作るよう指示が出されている。そこで歯科技工士会は歯科技工指示書と歯科技工録を一体化させたものを作りたいということで、歯科技工指示書の様式変更について、今後歯科技工士会と検討していく。



## ～会員事業部門～

## [学 術]

・日歯生涯研修セミナー出席報告(11/24)：岐阜県主催により行われた。

## [福祉厚生]

・睦寿会親睦会結果報告(11/24)：津市のホテルグリーンパーク津にて12名の参加者で開催した。

## [医療管理]

・歯科相談2件  
 ・年末年始における診療状況調査について：救急医療情報センターより、年末年始の各支部の状況について、調査の依頼があった。

## ～地域保健部門～

## [公衆衛生]

・障がい児(者)ネットワーク事業打ち合わせ会出席報告(11/6)

・障がい児(者)ネットワーク事業支援会への説明会出席報告(11/13、11/20)：障がい児(者)の保護者に対するアンケートに「三重県重症心身障害児者を守る会」、「自閉症児者親の会」、「知的障害者福祉協会」に協力を得た。併せて、施設職員向けのアンケートも行うことになった。

・第29回全国歯科保健大会出席報告(11/22)

・第52回三重県学校安全研究大会出席報告(11/27)

・1歳6ヶ月児・3歳児歯科健診早見マニュアルの作製について：下敷きとして作製し、表面を健診マニュアル、裏面に判定と歯科的異常の内容について記載した。支部長会で報告し、会員に配布したい。(承認)

## [障 害 者]

・センター診療実績(11月分)：延患者数122名

## ～情報処理部門～

## [広報編集]

・広報編集委員会結果報告(11/13)：三重県歯科保健大会の役割分担について協議。

・歯のオアシスについて：15回目(11/13)「幸せはぐくむ健康家族」、16回目(11/26)「お釈迦様も歯磨き指導」が掲載された。

・新春三重テレビCM放送について：1月1日の

中日新聞三重総局長と野呂知事との対談番組に、三重県歯科医師会のテロップが入ったCMを1回流す予定。

・8020カムカムインタビューについて：8020推進財団より、20周年記念集を作製するので投稿してほしいと依頼があり、第13回三重県歯科保健大会にて8020おしどり賞を受賞された明和町の樋口夫妻と主治医の藤田 導先生にインタビューを行い、投稿した。

## [企画調査]

・Eメールの配信申込状況：メールのみ221件、メール・郵便の両方263件の合計484件で参加率は56%。メール申込者484件のうち、設定完了メール報告者は379件、設定済率が78%になった。

## 承認事項

・会員数：一般696名、勤務27名、終身128名、特別3名、法人5、合計859名。新入会員〔四日市支部〕賀島健史先生、〔鈴鹿支部〕萬代慶太先生、〔伊勢度会支部〕片山 昇先生。(承認)

## 協議事項

1. 支部長会の招集並びに附議事項について  
招集日：12月25日(木) 午前10時
2. 平成20年度新入会員講習会について  
開催日：平成21年2月22日(日) 午後2時
3. 平成21年度事業計画について  
各部より提出された次年度事業計画について、新規事業、廃止事業を中心に協議が行われた。
4. 会務並びに事業の運営について
5. その他  
○平成20年度地区別講習会質問事項の対応について



## 1 月理事会報告

# 平成21年度事業計画並びに予算計画について協議

開催日：平成21年1月8日(木)

開催場所：三重県歯科医師会館

1月理事会が開催され、平成21年度事業計画並びに予算計画等についての協議が行われた。

### 会長挨拶

新年あけましておめでとうございます。旧年中は色々とお世話になりありがとうございました。

今年は役員任期交代期でありまして、日本歯科医師会の会長選挙では今月の末に開票され、次期の会長が決まります。そして1月23日には日本歯科医学会の会長選挙が行われます。今年から会員の直接選挙に変更した三重県歯科医師会の会長選挙、監事選挙は、本日が立候補者の届出日となっております。選挙になるかはまだ決まっておりませんが、残された任期を精一杯がんばってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひしまして冒頭の挨拶とさせて戴きます。

### 報告事項

#### 1. 会長報告

中央情勢等、平成21年度歯科保健医療対策関係予算案について、8020推進事業などの歯科保健医療の普及向上として今年の8億4,200万円が8億4,300万円とほぼ同額となり、来年度も本年度と同様に8020運動特別事業が継続可能で、より充実した事業の検討をお願いしたい。その他には歯科医師臨床研修の推進が増額された。その中の新規事業として歯科医師臨床研修支援に2億6,791万円が計上されている。このほとんどが、歯科医師国家試験に不合格となり、次回の国家試験に向けて準備をしている国立大学を除いた私立大学の歯科学生のために講習会等を開催するという内容である。この金額からも歯科医師国家試験浪人が非常に多いと実感させられる。

平成21年度介護報酬改定について、今回の改定率は3.0%と上がったが、-2.3%、-2.4%と2回連続の下げが続いていた後なので、3.0%のプラスになったとしても高い改定率ではないと思う。介護従事者の人材確保や処遇改善については、加算で評価されているが、全体的な底上げ部分についての基本サービスの引き上げがほとんどなされていないので、介護従事者の給料が安く仕事がつく離職率が非常に高い状態については、すぐに改善するのは難しいと思う。歯科においても介護保険の診療報酬の請求を行っている医療機関は非常に少なく、三重県内でも数える程しかない。今回の改定率は3.0%と上がったが、歯科衛生士が居住系施設入居者等に対して行う居宅療養管理指導費については、350単位から300単位に引き下げられている。介護保険についてどのように運用していくのか、今後が大切になってくると思う。

インターネットによる医療費の情報サービスについて、社会保険庁が解体され、政管健保が全国健康保険組合のいわゆる協会けんぽに10月1日から変わったが、その医療費通知は、今まで年2回のみであった。しかし今後、患者がインターネットを利用すれば、いつでも見たい時にIDとパスワードのみで医療費を見ることができるというサービスを実施するという。

歯科衛生士の需給対策について、2月になれば来年度の歯科衛生士学校の入学者が決定する。歯科衛生士学校の入学者数が減っていることは確かだが、2年制は平成22年度で終わり、平成23年度からは全ての歯科衛生士学校は3年制になる。歯科衛生士学校が3年制になると、今まで歯科衛生

士を目指していた人も学校選択、職業選択の幅が出てくるので、今後ますます入学者が減ってくるのではないかと予想される。歯科医師会と歯科衛生士学校が協力して、学生数を確保するような体制作りの必要性が出てきた。

## 2. 一般会務報告

- ・無料職業紹介所事業報告（累計）：求職8件、求人95件、紹介1件、まとまったもの0件
- ・県歯ホームページアクセス集計：3,195件
- ・1月、2月行事予定
- ・日歯会議報告：日歯戦略会議報告（齋藤常務理事）
- ・日歯会議報告：社保委員会報告（田所常務理事）
- ・東海北陸厚生局管内担当者連絡協議会報告（石垣専務理事）

## 3. 各部事業報告

～社会保障部門～

[社会保障]

- ・事業活動報告：12月会報にて、社保連絡No.10、社保通知No.16、L-netにて社保連絡No.11を送付した。
- ・個別指導の立会い〔6医療機関〕(12/4)
- ・社保委員会出席報告(12/6)

～会員事業部門～

[学 術]

- ・学術委員会出席報告(12/18)
- ・オンデマンド配信の要約について：「口臭」についてまとめたので、ホームページに掲載したい。(承認)

[医療管理]

- ・支部顧問税理士連絡協議会出席報告(12/18)
- ・事業活動報告：医療管理学会(12/7)は183名の参加者を得た。
- ・事業活動報告：歯科相談4件

～地域保健部門～

[公衆衛生]

- ・三重県8020運動推進協議会出席報告(12/11)
- ・子ども虐待防止学術集会ひろしま大会出席報告(12/14)
- ・介護予防研修会予演会、打ち合わせ会出席報告(12/18)
- ・事業活動報告：第57回三重県学校歯科衛生大会

結果報告(12/18)：山梨県立大学の西澤教授による講演。出席者数123名。次年度も是非、西澤先生に講演をお願いしたいと考えている。

- ・第4回介護予防研修会結果報告(12/21)：日本大学歯学部の植田教授の講演と事例発表として歯科衛生士会の桑員支部、鈴鹿支部、志摩支部と県歯の事業評価を行った。出席者数197名。第5回介護予防研修会(2/1)も植田先生にお願いしている。

[障 害 者]

- ・三重県特別支援学校保健担当者研修会出席報告(1/5)：三重県の特別支援学校から15校20名の先生が参加され、障がい児の口腔衛生についての講義とブラッシング指導と障害者歯科センターの見学を行った。

～情報処理部門～

[広報編集]

- ・広報編集委員会出席報告(12/18)：会員名簿の作成について協議。
- ・事業活動報告：メルマガ発行(12/10、25)。
- ・歯のオアシスについて：17回目(12/10)「忠臣蔵と歯みがき」、18回目(12/23)「ホワイトXマスは白い歯で」が掲載された。

[企画調査]

- ・企画調査委員会出席報告(12/18)
- ・Eメールの配信申込状況：メールのみ223件、メール・郵便の両方268件の合計491件で参加率は57%のうち、設定完了メール報告者は384件、設定済率が78%。

## 承認事項

- ・会員数：一般698名、勤務27名、終身127名、特別3名、法人5、合計860名。

## 協議事項

1. 平成21年度事業計画並びに予算計画について
2. 日歯代議員会質問事項について
3. 会務並びに事業の運営について
  - 協同組合取扱商品について
  - 印刷取り止め商品

## 公衆衛生

## 第57回 三重県学校歯科衛生大会

日時：平成20年12月18日（木） 午前10時～午後12時30分  
場所：三重県歯科医師会館

過去56回の歴史ある三重県学校歯科衛生大会で初めて歯科と全く異なる分野がご専門の山梨県立大学人間福祉学部教授・西澤 哲（にしざわ さとる）先生に、「子どもからのサインをキャッチするために！」「子ども虐待～子どもへの心理的影響と保護者の心理の理解～」というテーマで講演をお願いした。

石垣専務理事が開会の挨拶として、三重県歯科医師会が取り組んできた「子育て支援」の取り組みについて話され、歯科医師も広く視野を持つためにお呼びした西澤先生を紹介し、講演が始まった。今回の講演の雰囲気を理解して戴くためにも西澤先生の経歴について少し触れたい。

先生は臨床心理学、臨床ソーシャルワークが専門で、1957年に神戸市で生まれ、大阪大学人間科学部卒業という生粋の関西人である。情緒障害児短期治療施設小松島子どもの家にて心理臨床家として勤務され、この分野での日本での限界を感じ渡米、情緒障害児短期治療施設にカウンセラーとして勤務され、サンフランシスコ州立大学大学院教育学カウンセリング学科修士課程修了。帰国後は大阪府立こころの健康総合センター診療科に心理技師として勤務。日本社会事業大学社会福祉学部助教授、大阪大学大学院人間科学研究科助教授を経て現在に至っている。また、社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事、NPO法人児童虐待防止協会理事、日本子ども虐待防止学会理事なども務め、子どもの虐待や子どものトラウマの専門家であり、治療のスペシャリストでもあるというすごい経歴である。

自らを「多動」と分析されていたが、講演も児童虐待の基本の解説のほずが様々な実例や蘊蓄が



西澤 哲 先生

飛び出し、それに関西系のお笑いも含まれるため、会場は興奮と爆笑の渦と化してしまった。実際の内容でも「児童虐待は子どもの乱用であり、それは親権の乱用である」といった解釈は、目からうろこが落ちる思いであった。

また、当日紹介された「代理ミュンヒハウゼン症候群」（親が薬物などを使って子どもを重篤な病気に見せかけるため、虐待行為を継続的に続ける症例）が翌週に京大付属病院の逮捕劇となるなど、まさにエポックメイキングな講演であった。今回は、あまりの反響に次年度もお願いしたいという熱い声の中、閉会となった。

（公衆衛生担当理事・羽根司人 記）

## 平成20年度 第4回介護予防研修会開催

日 時：平成20年12月21日（日） 午前10時  
場 所：三重県歯科医師会館

今年度の介護予防事業は、戸原 玄先生の訪問歯科診療研修会から始まり、たくさんの参加を戴いた。今回も歯科医師71名、歯科衛生士79名、歯科技工士10名、行政・施設職員等27名、従業員等10名、合計197名もの参加で、講師の日本大学歯学部教授・植田耕一郎先生への期待をうかがわせた。

今回は、「高齢者がおいしく、楽しく、安全な食生活を送るために、『口腔機能の向上支援』の現状、課題と展望」というテーマで講演をお願いした。また、三重県歯科医師会・三重県とで取り組んできた介護予防事業も今年度で4年目となり、過去3年間の評価も含め、各地でのモデル事業の取り組みの紹介と事業結果報告も併せて行った。石垣専務理事からも昨年からのこの事業の成果により、訪問診療を行う先生の数も倍近くになりつつあるという報告を含めた挨拶があり、その後、植田教授の講演に入った。

今回は「口腔機能の向上支援」ということで、特定高齢者の選定には基本チェックリスト13、14、15の3つのチェックが必要だった点が、平成19年度から3つのうち2つがRSSTか口腔衛生状態不良、いずれかでよいと改正された点が説明された。しかし現状ではやはり、介護予防給付全国悉皆調査の結果では、全国1,823市町村3,869地域包括支援センターにおいて、運動機能52.5%、栄養改善0.3%、口腔機能2.2%しか実施されていないことが報告された。結局「制度あって人材なし」という点が浮き彫りにされたわけである。介護予防においては、地域包括支援センターでの1次アセスメントに口腔の様式があるか？専門職がサービス担当者会議に参加しているか？などが問題であると指摘された。また帳票が煩雑との現場からの声に、今年8月に簡素化したので利用して戴きたいとのことであった。今後はSatellite式担当として地域包括支援センターに歯科衛生士を派遣し、診療につなげる。さらには診療所単位での口腔機能向上、すなわち診療所を介護予防施設にという



植田耕一郎先生



提案もなされた。

午後からは、三重県歯科医師会口腔ケアによる介護予防モデル事業の事例発表とディスカッションが、座長：石垣宏己専務理事、コーディネーター：植田耕一郎教授のもとで行われた。

委員支部モデル事業、鈴鹿支部モデル事業、志摩支部モデル事業の順で発表し、それぞれケアプランにまで踏み込んだ研修、同施設での2年間の経過並びにミーティングの重要性、過疎地の老人クラブでの事例など特色ある取り組みが報告された。その後3年間の事業評価報告を行ったが、植田教授から、「歯科衛生士が生き生きしている。入れ歯などに注目し、治療に結びつけることも重要」などと全般に高い評価を戴いた。

まだまだ認知度の低い口腔ケアによる介護予防制度だが、次期介護保険改定では単位（医療保険でいう点数）は引き上げられている。訪問診療を含め、高齢社会に向けてさらなる努力をしていきたいと思う。

（公衆衛生担当理事・羽根司人 記）

## 医 療 管 理

# 個人事業の承継に係る税務の取扱い

顧問税理士 植村公順

Q：高齢の歯科医師です。歯科医師である青色事業専従者に歯科医業を引き継ぎたいと考えていますが、税務の取扱いはどうなるのでしょうか。

A：同一世帯で生活をしている親から子への事業の承継は、親が事業の廃業、子は事業の開業を所轄税務署に届けることによって、親は廃業日までの所得金額を、子は開業日以後の所得金額を確定申告することになります。

この開廃業届出書は、給与支払事務所等の開設及び廃止も兼ねています。

この場合、社会診療報酬請求機関など医療関係先への開廃業届けをしておく必要があります。

なお、子が事業所得を青色申告する場合には、開業日から2ヶ月以内に所轄税務署へ青色申告の承認申請書を提出することになっています。

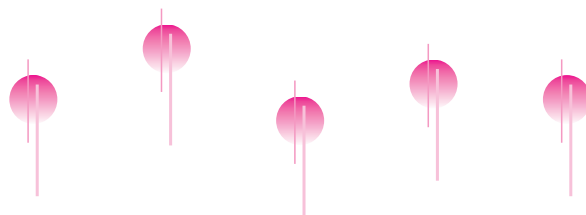
さて、子が歯科医業を開業する際に、廃業した親の歯科医業の財産（青色決算書の貸借対照表に記載されている資産・負債）の引き継ぎ方法によって、贈与税の負担が増減します。引き継いだ親の資産が110万円を超える場合には贈与税が課税されます。

そこで、子が歯科医業を開業するに当たって、親の歯科医業の財産のうち引き継がなければならない財産のみを引き継ぐこととすれば、贈与税が少なくなる場合、または納めなくてもよい場合があります。

贈与税対策のためには、「①専従者給料で蓄積した子名義の預貯金を開業資金とする。②親の廃業時の歯科材料の価額が110万円以下であれば、贈与税が課税されないので、その歯科材料を引き継いで歯科医業に使用する。その材料の価額が110万円を超えておれば子がその歯科材料価額で親から買い取る。③減価償却資産は親から無償で貸借（使用貸借といいます。）する。④その他の歯科医業財産は一切引き継がない。⑤財産の名義は親から子に変更しない。」などの方法を検討します。

子が親の減価償却資産を無償で借りて歯科医業に使用した場合、開業以後その減価償却資産に係る固定資産税などを親が支払っていても、事業に係る部分は子の歯科医業の所得金額の計算上必要経費になります。所得税法第56条は、事業所得者が一緒に生活している他の親族の所有している資産を無償で事業に使用している場合には、その資産に係る固定資産税、修繕費、リース料、減価償却費等のうち事業に係る部分の金額は、事業所得の金額の計算上必要経費にすると規定しています。

さらに、親は歯科医業を廃業した後、子の歯科医業に専ら従事していれば、子の青色事業専従者となり、子が青色申告承認申請と併せて、所轄税務署長に労働の対価として適正な青色事業専従者給与を届け出て支払うことにより、子供の歯科医業の所得金額の計算上必要経費になります。



## 社会保障部門社保コーナー

# 資格関係誤りレセプト発生防止にご協力を

## 三重県社会保険診療報酬支払基金

平素は、資格関係誤りレセプトの発生防止にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、支払基金では、資格関係誤りレセプトの発生防止について、保険者及び保険医療機関等関係方面のご協力を得て、被保険者証の提示・確認の徹底等について、広報活動を積極的に行ってまいりました。

三重県基金における直近12か月の理由別資格関係誤りレセプトの発生状況は、下表のとおりであります。資格関係誤りレセプトが保険医療機関に返戻されますと被保険者証等を確認する負担と再請求できるまでの間、診療報酬が遅延することになり、また、確認がとれない場合は、診療報酬が欠損となる場合があります。

つきましては、保険者等に対して、引き続き「受診者教育」及び「資格喪失後の被保険者証の早期回収」等の協力を要請してまいりますが、保険医療機関におかれましては、①受診時（初診・再診）の被保険者証等の確認の励行 ②被保険者証等からカルテ、カルテからレセプトへの転記（入力）誤りにご留意戴き、資格関係誤りレセプト発生防止にご協力をお願い致します。

### 理由別資格関係誤りレセプト発生状況

三重県計

(単位：件)

区分	処理月	平成20年				割合(%)
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
11 記号・番号の誤り		4,044	4,120	4,814	2,767	24.28
12 患者名の誤り		103	121	204	156	0.90
13 認定外家族		825	967	1,010	568	5.20
14 該当者なし		409	362	332	276	2.13
15 保険者番号と記号の不一致		47	46	44	24	0.25
16 旧証によるもの		539	523	471	326	2.87
17 本人・家族の誤り		1,087	1,117	1,271	1,145	7.12
18 資格喪失後の受診		8,437	8,084	8,900	4,078	45.49
19 重複請求		485	508	588	276	2.86
20 給付対象外傷病（業務上）		147	124	123	150	0.84
21 給付対象外傷病（適用外）		7	2	8	0	0.03
22 老人保健・国保該当		338	339	132	18	1.28
23 給付期間満了		108	112	139	72	0.66
24 その他		1,233	1,231	1,133	363	6.11
合計		17,809	17,656	19,169	10,219	100.00
平均		5,936	5,885	6,390	3,406	

## 会員事業部門生涯研修コーナー

### ●今月の生涯研修該当論文

日本歯科医師会雑誌

<VOL.61 No.10 1月号>

研修コード 0199

対 談「権丈教授に医療政策をきく（第1回）」権丈善一 他2名

研修コード 0410

クリニカル「歯科用CTで診た歯内療法の難治症例」吉岡隆知 須田英明

研修コード 0899

サイエンス「補綴治療のための機能解剖と治療後の抗加齢現象」阿部伸一（東京歯科大学准教授）

研修コード 1003

クリニカル「歯科理工学に基づく審美修復装置、材料の選択と先端技術の応用」

新谷明喜（日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第2講座教授）

研修コード 0199

FORUM「市川市における歯科保健サービスをめぐる働き（その1）」千葉光行（市川市長）

<VOL.61 No.11 2月号>

研修コード 0199

対 談「権丈教授に医療政策をきく（第2回）」権丈善一 他2名

研修コード 0501

クリニカル「生物学的検査を基本にした症例および患者データ管理－唾液細菌検査によるハイリスク患者への応用と定期管理効果について」佐々木脩浩（千葉県八千代市開業）

研修コード 0308

サイエンス「歯痛とうつ病や身体表現性障害との関係」

山田和男（東京女子医科大学東医療センター精神科〔心の医療科〕准教授）

研修コード 0405

クリニカル「より確実な印象採得を行うために」大村裕進（山口県下関市開業）

研修コード 0410

クリニカル「根管形成の基本」中川寛一 末原正崇

研修コード 0199

FORUM「市川市における歯科保健サービスをめぐる働き（その2）」千葉光行（市川市長）



## ●学術委員会情報配信コーナー

## テーマ：口臭

研修コード 0501

今回は、「口臭」について配信している。その要旨をここに掲載するので、詳細については県歯ホームページを見て戴きたい。

口臭（学術的にはOral Malodour）は息の匂いであり、著しく不快な匂いが息から発散されることを表現するもので、最も一般的には臭い息（Bad Breath）とも言われている。口臭を訴え歯科を訪れる患者は多く、歯科疾患の実態調査でも口臭は不快症状の一つとして高頻度で挙げられている。英国口腔衛生財団（British Dental Health Foundation）に委託された笑顔に関する全国的な月間調査では、20%の人が配偶者に臭い息を感じていると述べており、これは男性にも女性にも同様の回答が得られている。さらに、臭い息の友達や同僚がいる人が42%もいることが露呈し、現在でも一般的で大きな問題として存在していると思われる。

口臭は多くの場合、歯科口腔領域の疾病の一症状として現れる。したがって、口臭への対応は、まず歯科医師が担当すべきである。しかし不快な臭いであっても、その判断は曖昧であり主観的である。また、他人が不快と感じないにもかかわらず、異常なまでに自分の口の臭いにこだわり、精神的に不安定な人もいる。このようなことから、口臭を正確に診断（測定）することが重要となる。

そこで、臨床現場での対応が困難な口臭について、その原因と診断・治療法を検証し、検索されたなかで口臭に関する論文を掲載年の古い順で紹介する。

まず、2005年の八重垣 健による『口臭臨床の実際』<sup>1)</sup>がある。北米では半数以上の人々が1年に1回以上歯科を定期受診するが、日本では非常に少ない。この受診率の差は、彼我のオーラルヘ

ルスプロモーションの差が原因であろう。一方、日本では口臭を気にする者が多いものの、口臭物質の歯周病原性や発ガン性は知られていない。最近、宮崎らの分類の確立により口臭臨床は容易となり、患者への口臭の啓発が可能となった。その結果、口臭臨床がわが国のオーラルヘルスプロモーションに大きく貢献すると示唆している。

また、2005年、角田正健による『口臭の原因と対応について<その1>』<sup>2)</sup>がある。口臭の多くは、口腔の環境や疾患に起因するものであり、その主な原因として歯肉炎、歯周炎及び舌苔が挙げられる。臭気の発生は、口腔細菌が含硫アミノ酸などのタンパク質を分解することによって、硫化水素やメチルメルカプタンなどの揮発性硫黄化合物が産生されることによる。ここでは、歯科臨床における口臭測定の必要性と、口臭の原因疾患について述べている。

さらに、2006年、同氏による『口臭の原因と対応について<その2>』<sup>3)</sup>では、歯科医師による口臭治療の要点を述べ、臨床4症例を用い解説している。口臭を訴え来院する患者、歯科治療を受けながら口の臭いについての不安を訴える患者、歯科医師が心配するほど口臭があるにもかかわらず無頓着な患者など、さまざまである。このような患者に対応するためには、口臭を正確に評価できなければならない。ここでは、口臭を判定（測定）する際に注意・留意すべきことに触れ、口臭治療では頻度の高い症例を取り上げて紹介している。

また、2007年の国際歯科ニュースでは、『口臭—どのように診断し、効果的に治療するか—』<sup>4)</sup>がある。ここでは、診断テクニックと治療法について触れられている。

## 会員事業部門生涯研修コーナー

<紹介論文>

- 1) 八重垣 健「口臭臨床の実際－ヘルスプロモーションと口臭物質の病原性－」日本歯科医師会雑誌, 58:27-38, 2005.
- 2) 角田正健「口臭の原因と対応について<その1>」日本歯科医師会雑誌, 58:875-881, 2005.

- 3) 角田正健「口臭の原因と対応について<その2>」日本歯科医師会雑誌, 58:973-979, 2006.
- 4) 国際歯科ニュース「口臭－どのように診断し、効果的に治療するか－」日本歯科医師会雑誌, 60:80-83, 2007.



		社 会 保 険			国 民 保 険		
		1 件 当 日 数	1 日 当 点 数	1 件 当 点 数	1 件 当 日 数	1 日 当 点 数	1 件 当 点 数
一 般	本 人	2.0	605.8	1,186.9	2.0	605.8	1,219.4
	家 族	1.7	543.6	949.1			
後期高齢者医療		—	—	—	2.1	674.5	1,419.3

		社 会 保 険			国 民 保 険		
		1 件 当 日 数	1 日 当 点 数	1 件 当 点 数	1 件 当 日 数	1 日 当 点 数	1 件 当 点 数
一 般	本 人	2.0	603.7	1,207.3	2.1	611.0	1,283.7
	家 族	1.8	540.2	969.1			
後期高齢者医療		—	—	—	2.2	675.4	1,500.3

### 三重県最低賃金は時間額 701円

#### －最低賃金の改正について－

「三重県最低賃金」は、平成20年10月26日から、時間額701円に、12円引き上げられました。この最低賃金は、年齢・雇用形態（パート・アルバイト等）を問わず、原則、県内で働く全ての労働者に適用されます。

また、特定の産業の事業場で働く労働者には、産業別最低賃金が定められています。5業種の産業別最低賃金については、同年12月26日から、時間額で9円から11円引き上げられます。

詳細については、三重労働局賃金室（TEL. 059-226-2108）または最寄りの労働基準監督署へお尋ね下さい。

# 委員会便り

## 医 療 管 理

### 平成21年度歯科助手講習会について

1. 日歯会歯科助手訓練基準による平成21年度歯科助手講習会を下記日程で行います。  
受講希望者は受講票を三歯会報に同封しましたので、所定事項記入の上3月末日迄に本会宛送付してください。  
受講票を提出した者は、受講当日、三重県歯科医師会館にて受講してください。
2. 歯科助手訓練基準に基づいた項目・内容について訓練を実施し、これを習得した者に対し、歯科助手資格認定証を交付します。
3. 欠席した教科については、次年度にその教科を受講すれば、その資格を得ることができます。
4. 受講期間は2ヶ年とします。また、遅刻・早退は原則として認めません。
5. 全教科を通じ教本を使用しますので、第1回講習日に本会にて購入してください。
6. 受講料 7,000円（教本と申請料を含む）
7. 当日は筆記用具をお持ちください。  
※第3回目の実習での持ち物は、第2回目の講習日にお知らせします。
8. 日 程

第1回：4月19日（日）

AM10：30～12：00

保険診療のしくみ

講師 県歯会社会保障担当理事

PM1：00～4：00

歯科助手の心得と一般教養

講師 目賀田美奈子

（オフィス プレイズ）

第2回：4月26日（日）

AM10：00～12：00

歯学概論と消毒法

講師 県歯会医療管理担当常務理事

PM1：00～3：00

歯科用器具・器械・材料・薬品・  
救急処置

講師 県歯会医療管理担当理事

第3回：5月21日（木）

AM10：00～PM3：00

実 習

講師 県歯会医療管理委員全員  
株式会社ジーシー名古屋

第4回：5月31日（日）

AM10：00～12：00

補綴・口腔外科・保存

講師 県歯会医療管理委員

PM1：00～3：00

歯周病・矯正

講師 県歯会医療管理委員

## 社 会 保 障

日 時：平成20年12月6日（土）

場 所：三重県歯科医師会館

- 協議事項：①日歯社保委員会在宅検討事項について  
②歯科技工指示書／歯科技工録について  
③レセプト電算化・オンライン化について  
④新規指導自主懇談について

## 学 術

日 時：平成20年12月18日（木）

午後3時～4時45分

場 所：三重県歯科医師会館1F教育センター

- 協議事項：①平成21年度事業計画について  
②平成20年度第二回三重県歯科医師会  
学術研修会の事前・当日アンケート  
と研修会での役割分担について  
③平成20年度日歯オンデマンド配信要  
約事業について  
④歯周病（第一回学術研修会）に関す

## 委員会便り

る図書購入について

### 企 画 調 査

日 時：平成20年12月18日(木)午後3時～5時  
場 所：三重県歯科医師会館3F実習室  
協議事項：①平成21年度事業計画について  
②県歯会情報のEメール化について

### 広 報 編 集

日 時：平成20年12月18日(木)  
午後3時～4時45分  
場 所：三重県歯科医師会館3F研修室  
協議事項：①三重県歯科医師会会員名簿について

②来年度事業計画について

### 障害者歯科センター

12月障害者歯科センター診療状況  
診 療 日：7日  
診療担当者：常勤1名、非常勤7名(内訳・会員  
6名、大学1名)

延患者数：153名  
1月障害者歯科センター診療状況  
診 療 日：8日  
診療担当者：常勤1名、非常勤6名(内訳・会員  
5名、大学1名)  
延患者数：159名

## 12・1月会務日誌

- |   |  |
|---|--|
| 12. 4 理事会・監事会開催   | 理事、田所常務理事出席  |
| 6 社会保障委員会開催<br>日本歯科医師会平成20年度警察歯科医身<br>元確認研修会に橋本副会長出席                      | 1. 8 理事会、選挙管理委員会開催   |
| 7 医療管理学会開催  | 9 第61回三重県公衆衛生学会に中井常務理<br>事、羽根理事、松井俊二公衆衛生委員出席                     |
| 11 三重県8020運動推進協議会に石垣専務理<br>事、中井常務理事、羽根理事出席<br>伊賀支部社保研修会に田所常務理事、太<br>田理事出席 | 12 鈴鹿支部社保講習会に田所常務理事、小<br>林理事出席                                   |
| 14 日本子ども虐待防止学会第14回学術大会<br>ひろしま大会に羽根理事出席                                   | 14 日歯戦略会議に齋藤常務理事出席   |
| 17 日歯戦略会議に齋藤常務理事出席  | 15 尾鷲地区地域8020運動推進協議会、紀南<br>地区地域8020運動推進協議会開催<br>桑員支部社保講習会に小林理事出席 |
| 18 三重県学校歯科衛生大会・支部顧問税理<br>士連絡協議会・学術委員会・企画調査委<br>員会・広報編集委員会開催               | 桑員支部学校歯科医研修会に羽根理事出席<br>四日市支部社保講習会に田所常務理事、<br>芝田理事出席              |
| 21 介護予防研修会開催  | 津支部医療管理・社会保障合同講習会に<br>齋藤常務理事、太田理事出席                              |
| 25 支部長会・次期会長立候補予定者事前説<br>明会開催<br>日歯社会保険委員会に田所常務理事出席                       | 22 介護予防研修会打合せ会開催<br>第3回三重県医療審議会救急医療部に<br>橋本副会長出席                 |
| 28 東海北陸厚生局管内歯科医師会担当者連<br>絡協議会が愛知県にて開催され石垣専務                               | 平成20年度産業保健研修に森谷副会長出席<br>23 日本歯科医学会第81回評議員会に峰会長                   |

- 出席  
 国保連合会介護給付費審査委員会に石垣  
 専務理事出席
- 29 支部公衆衛生担当者・公衆衛生委員合同  
 連絡協議会、歯科技工士会と技工指示書  
 に関する打合せ会開催  
 日歯戦略会議に齋藤常務理事出席
- 31 東海地区歯科医師会会長・専務理事連絡

協議会が愛知県にて開催され峰会長、石垣  
 専務理事出席  
 東海地区歯科医師会会長・副会長・専務理  
 事・日歯代議員連絡協議会が愛知県にて  
 開催され峰会長、橋本副会長、森谷副会  
 長、石垣専務理事、齋藤日歯代議員出席  
 子育て支援わくわくフェスタに中井常務  
 理事、羽根理事出席

## 会員消息のページ

### 住所変更

平岡 大先生（鈴鹿）  
 鈴鹿市郡山町663番地の1280

### 診療所廃止

古川司郎先生（伊勢度会）

県歯会員 生川 寛先生（四日市）が、100歳を迎えられ、日本歯科医師会よりお祝いされました。県歯会理事会よりも先生の長寿をお祝いさせて戴きましたことをご報告させて戴き、先生が今後ますますお元気でいらっしゃることを祈念いたします。

### 謹んでおくやみ申し上げます



杉山幸人先生（津支部）  
 去る11月30日、お亡くなり  
 になりました。  
 享年79歳



伊藤武利先生（鈴鹿支部）  
 去る12月9日、お亡くなり  
 になりました。  
 享年88歳



中谷 源先生（伊賀支部）  
 去る1月6日、お亡くなり  
 になりました。  
 享年76歳



田丸孝夫先生（津支部）  
 去る2月4日、お亡くなり  
 になりました。  
 享年65歳

本会会員数（2.1現在）  
 一般会員 698名 勤務会員 27名  
 終身会員 126名 特別会員 3名  
 法人会員 5名 計 859名  
 日歯会員数 65,373名（12.31現在）

# 告 知 板

## 平成 21 年 度 愛知学院大学歯学部同窓会三重県支部学術講演会

開催日時：平成 21 年 4 月 26 日（日）午後 2 時 30 分～5 時

開催場所：四日市都ホテル

四日市市安島 1 - 3 - 38（TEL：059-352-4131）

演 題 1：「哺乳動物の咀嚼機構」

講 師：愛知学院大学歯学部口腔解剖学講座教授 大野紀和先生

演 題 2：「金属アレルギーの診断と治療の最前線」

講 師：愛知学院大学歯学部高齢者歯科学講座教授 服部正己先生

会 費：無料

<問い合わせ先>

〒514-0028 津市東丸之内21-6 こいえ歯科口腔外科 鯉江正人

TEL：059-224-9298 / FAX：059-225-9291

## 無料職業紹介所の利用について

三重県歯科医師会では、歯科医療技術者（歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）を対象とした、無料職業紹介事業を行っております。（歯科助手については、日本歯科医師会認定書取得者及び取得予定者とします）

この事業では、職業紹介を希望される場合、求職は働く意欲がある方なら常勤、パートを問いません。申し込みにより希望と能力に匹敵する職業に速やかに就くことができるよう極力お世話をいたします。

無料職業紹介所の利用法について

《求人者の場合》

○所定の求人申込書に必要事項を記入し提出してください。

尚、求人票の有効期限は3ヵ月です。

《求職者の場合》

○所定の求職票に必要事項を記入し提出してください。

《求人・求職の申請と紹介方法》

下記へ連絡を戴ければ、関係書類をご送付申し上げます。

（註）この事業に関する事項は、職業安定法関係法令及び通達に準じて運営されることとなっておりますのでご了承ください。

三重県歯科医師会内

社団法人 三重県歯科医師会

歯科医療技術者等無料職業紹介所

〒514-0003

津市桜橋2丁目120-2

TEL 059-227-6480

## 互 助 会 各 部 の 現 況

(20.12.1～20.12.31)

## 第1部 (疾病共済)

入会 3名 退会 1名 累計 800名 2,348口

収入累計	192,252,230円	{	繰越	192,220,730円
			入金	31,500円

支 出 3,060,000円

残 高	189,192,230円	{	定期	98,000,000円
			普通	41,192,230円
			国債	50,000,000円

療養給付：9名

死亡給付：1名

## 第2部 (火災共済)

入会 3名 退会 1名 累計 821名 963口

収入累計	103,727,230円	{	繰越	103,723,230円
			入金	4,000円

支 出 0円

残 高	103,727,230円	{	定期	92,920,000円
			普通	10,807,230円

## 第3部 (災害共済)

入会 3名 退会 1名 累計 821名

収入累計	28,089,084円	{	繰越	28,065,084円
			入金	24,000円

支 出 0円

残 高	28,089,084円	{	定期	22,300,000円
			普通	5,789,084円

## 歯 科 国 保 組 合 の 現 況

平成20年10月保険給付状況

		件 数	費 用 額	保険者負担額 (金 額)
療養給付費	当月分	3,446	46,282,294	32,771,743
	累計	22,847	290,010,792	205,171,410
療養費	当月分	74	408,563	287,417
	累計	442	3,053,916	2,044,319
高額療養費	当月分	21		1,233,097
	累計	141		12,553,430
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	2		700,000
	累計	25		8,750,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	8		820,000
傷病手当金	当月分	17		420,000
	累計	102		4,347,000

収支状況

(20年度11月累計)

区 分	金 額
歳 入 合 計	897,128,803
歳 出 合 計	412,479,204
収 支 差 引 残	484,649,599

被保険者異動状況

(20年12月31日現在)

区 分	被保険者数	前月との比較
組 合 員	2,521	△ 17
家 族	1,876	5
計	4,397	△ 12

## 互 助 会 各 部 の 現 況

(21. 1. 1～21. 1. 31)

## 第1部 (疾病共済)

入会 0名 退会 1名 累計 798名 2,342口

収入累計	189,286,730円	}	繰越	189,192,230円
			入金	94,500円

支 出 2,400,000円

残 高	186,886,730円	}	定期	98,000,000円
			普通	38,886,730円
			国債	50,000,000円

療養給付：5名

死亡給付：2名

## 第2部 (火災共済)

入会 0名 退会 1名 累計 819名 963口

収入累計	103,739,230円	}	繰越	103,727,230円
			入金	12,000円

支 出 0円

残 高	103,739,230円	}	定期	92,920,000円
			普通	10,819,230円

## 第3部 (災害共済)

入会 0名 退会 1名 累計 819名

収入累計	28,158,084円	}	繰越	28,089,084円
			入金	69,000円

支 出 0円

残 高	28,158,084円	}	定期	22,300,000円
			普通	5,858,084円

## 歯 科 国 保 組 合 の 現 況

平成20年11月保険給付状況

		件 数	費 用 額	保険者負担額 (金 額)
療養給付費	当月分	3,200	43,660,100	30,915,530
	累計	26,047	333,670,892	236,086,940
療養費	当月分	80	525,984	371,375
	累計	522	3,579,900	2,415,694
高額療養費	当月分	28		2,828,040
	累計	169		15,381,470
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	2		700,000
	累計	27		9,450,000
葬祭費	当月分	1		150,000
	累計	9		970,000
傷病手当金	当月分	17		540,000
	累計	119		4,887,000

収支状況

(20年度12月累計)

区 分	金 額
歳 入 合 計	963,017,832
歳 出 合 計	503,940,260
収 支 差 引 残	459,077,572

被保険者異動状況

(21年1月31日現在)

区 分	被保険者数	前月との比較
組 合 員	2,518	△ 3
家 族	1,875	△ 1
計	4,393	△ 4



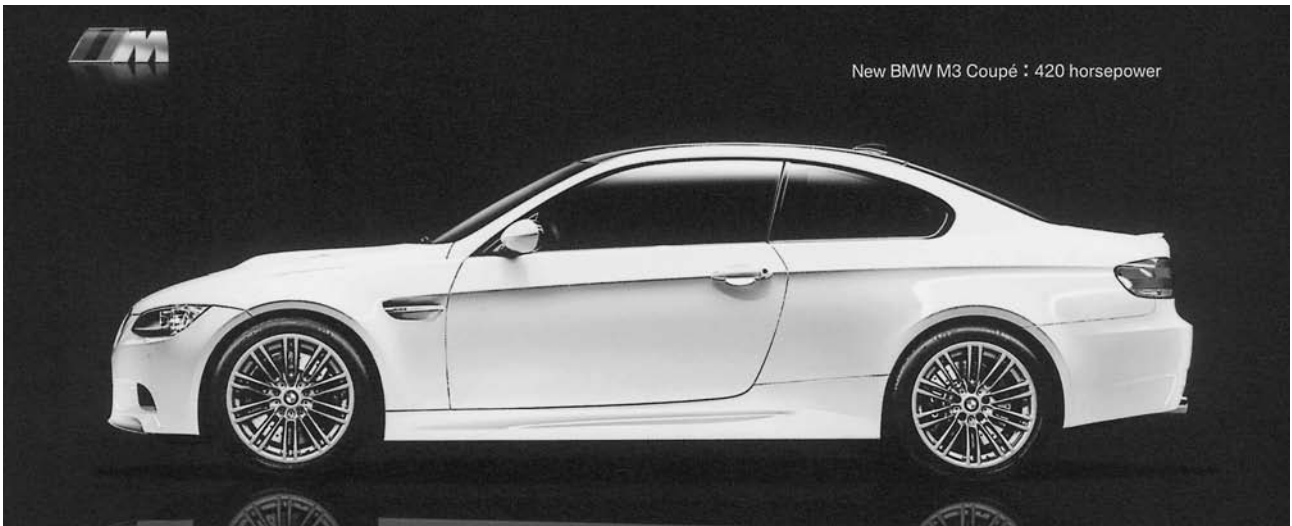
# 編集後記

1年程前は、日本の一流企業は軒並み過去最高益を上げていたのに、あっという間に「百年に一度の不況」に陥ってしまいました。あまりに急激な社会経済の変化に驚かされてしまいます。大量の派遣切りや正社員解雇が、我々の歯科業界にも患者様の受診抑制や自費の減少などに影響を及ぼしてくるでしょう。

先日、受付を募集したところ、驚くほど多数の応募を戴きました。これも不況の影響でしょうが、職を探している人がこれほど多いのかと実感しました。しかしながら、歯科衛生士の方は、やはり

不足しており、探しているけれど見つからないという先生が多いのではないのでしょうか。ここ数年、定員割れしている歯科衛生士学校も多いと聞きます。不況のため一般企業は内定取り消しや採用抑制をしている社会情勢の中、今後、高卒や大卒者の就職率は大幅に低下することが予想されます。これを機に就職率100%の歯科衛生士という職種の人気が高まり、優秀な人材が集まってくれることを期待します。

(広報編集委員・杉山拓紀 記)

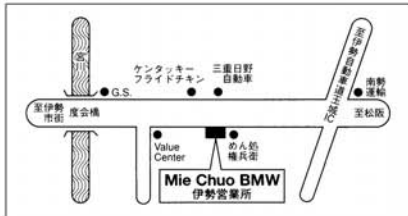


BMW 正規ディーラー

## Mie Chuo BMW

URL <http://www.miechuobmw.jp>

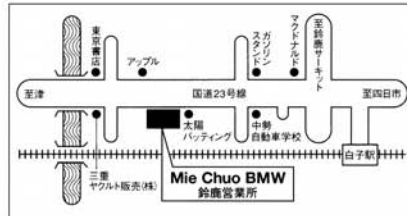
※BMW認定中古車のご用命は、津アブルーブドカー・センターへ。



**伊勢営業所/ショールーム**  
〒516-0051 伊勢市上地町1040  
TEL. (0596) 22-0125  
FAX. (0596) 22-0123



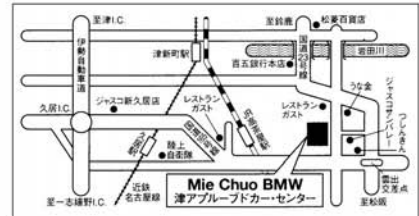
モバイル版MAPはこちら



**鈴鹿営業所/ショールーム**  
〒510-0254 鈴鹿市寺家6-21-21  
TEL. (059) 387-3311  
FAX. (059) 387-1125



モバイル版MAPはこちら



**津アブルーブドカー・センター**  
〒514-0817 津市高茶屋小森町298  
TEL. (059) 238-2288  
FAX. (059) 238-2388



モバイル版MAPはこちら

さらなる安心感を皆様へ。

夜間のお問い合わせやご購入後のエマージェンシーサービスはBMWカスタマーサポートが24時間対応。 **BMWカスタマー・サポート ☎0120-55-3578**

※BMWカスタマーサポートは24時間対応、年中無休。携帯電話からもご利用いただけます。お電話の際は、簡単なアンケートにお答えください。